

卒業生
だより

新制四回生だより

巣立つて早や四年!! 社会生活もまだシンマイだシンマイだと思つている中、何時の間にか古顔の部類にされつつあり、その中四月にもなれば又、新しい方々の入社を迎える事となりこれが又、ナント昭和十五年生れの新制高校卒でウカウカすると十もちがう……という様な昨今です。

クラス会も昨年の六月で四回 卒業したてのウブな気持はやはり社会生活に、もまれてか幾分ズウズウしさを増した様でお互いに顔を合せては、このサラリーぢや労働に対する報酬にしては少い等とだまつてはおりませんが職場に働く者は一同元気にしております。一方家庭におちつかれた方、又目下売出中で待機の方、もう非売品でいそいと嫁がれるその日を指折り数えて待つ方と……それぞれお忙しい毎日の様です。私たちのクラス(管・松本両先生の級)は人数が少く又、就職した割合も少い方で、科に残られた新井さんを筆頭に附属の田島さん(旧姓今泉さん)聖路加の中田さん、福祉事務所の江部さん、私立学校共済組合の小山さん、日通の金子さん、東洋レーヨンの宮本等で、川崎製鉄の小林さん、日本文化学社の篠塚さんは、その指折り数える部類で、小村さんは二月三日、篠塚さんは二月十五日に挙式というこの春です。又、舞踊の黒岩さん(旧姓大柴さん)と、民芸に入られた松沢さんは共にお好きな道へ進まれたわけです。家庭に入られた方の中でも仕事をもちつた方も

あり佐藤さん(旧姓川口さん)は先生をなさり、柳本さんはテストの方で辰見先生のお仕事の秘書をつとめていらつしやいます。私も幾人かは二年上の吉沢先生、精神衛生普及会の早川さん(旧姓神田さん)等とこのテストのお手伝いをし、会社生活では充たされぬ研究の方に一カ月に一度接触しているわけです。又地方に帰られたり、嫁がれて地方に行かれた方もあり東京の主婦の方ともども、人生とはこんなものだ、という哲学を味いながら張合のある家庭生活を過ごされていらつしやる御様子です。その他例にもれず花嫁修業中という範疇に入るせいたくなお嬢様もいらつしやるわけで、そこは諸先輩諸姉のお世話になるどころ大で……

こうして考えてみますと、私たちの様に、戦争を間にして戦前と戦後の教育を受けた学年は過渡期の産物として中途半端に解釈されがちですが、時としてこの両面をもつた教えが役立つという事を社会に出て、或いは身近な家庭生活にも経験している様な気がいたします。対人関係、親子関係にこのウェットとドライを適当に混合して生活出来るテクニクはこの年代の持つているものかもしれません。その点で、現在の世の中で生活いたしますのに、私たちは或る点では非常になやみ苦勞しながらも、楽しい有意義な日々を送るべく新時代の感覚を大いに發揮してやつていつているのではないでしようか。いづれにいたしましても人工衛星の飛ぶ時代のこと、何時どういふ事になる世の中ともかぎりません。しかもまだ若い私たちです。有意義な人生を送るに一日一日を主婦もサラリーマンもすべて広義の青春を謳歌したいと話し合っているのです。まだまだ未完成な私どもの事、何卒何卒今後とも御指導御鞭撻の程を。